ここが聞きたい！

峯 新一 議員

●農工併進の町へ
●企業誘致のための工業用地の確保は
●ため池の整備は万全か

企業誘致のための工業用地の確保は

問 工業用地として確保している土地はありますか。

答 企画情報課長
今のところ確保している土地はありません。

問 用地確保は絶対必要だと思うが。

答 企画情報課長
企業からの要望があればすぐにでも用地の交渉を行い、工業用地等の造成を行いたいと思っていますが、工業団地としての土地の確保は、今現在、考えていません。

問 企業誘致を考えることで、住宅問題の解決、人口減少に歯止めがかかると思うが。

答 町長
企業誘致に係る土地の確保となると、大規模であるほど多大な経費を伴います。それをあえて行いながら企業の進出を待つと言うことでは決断できませんが、企業の規模に応じ誘致は積極的に努力していきたいと思っています。

建設中の高村工業

ため池の整備は万全か

問 ため池の整備は万全か。

答 産業振興課長
現在、災害等による池破損発生を防ぐためと、市町村と管理者の防災情報連携体制を確立することを目的として、県が事業主体で調査を行っています。町については、23年度からため池の所見確認と老朽度等の調査を、県又は町、災害アドバイザーなどの同行のもと25年度までに調査を行います。

問 使用していないため池はありますか。

答 産業振興課長
20カ所ぐらいはあるようです。

問 ため池の安全面は。

答 産業振興課長
基本的にはため池の維持管理は、地元がやっていることなので、地元が十分把握していると思います。又、これについては農地・水・環境保全の中でも点検項目があり、点検等は行っていると思っています。

東上

ここが聞きたい！

亀頭 寿太郎 議員

●地域活性化をどう考えるか
●大平樂の運営は
●議員定数を見直しては

議員定数を見直しては

問 選挙制度などの改正は地方分権時代にそなえての議員定数削減ですか。

答 町長
総務省の見解も伺っていますが、議員定数の問題は議員みずから諸般の状況などについて十分検討、協議・提案を頂くことが最も望ましい姿と考えます。

大平樂の運営は

問 民間に売却の計画はありませんか。

答 町長
大平樂の指定管理については、検討の時期が来ていると思っています。3年間、一生懸命頑張っていますが、現状は厳しいと考えています。大平樂よりも周辺整備にかかる経費が大きく、過剰負担になっていることを考えると、大平樂の売却を考えても良い時期に来ていると思います。今後検討を加えたいと思っています。

大平樂

地域活性化をどう考えるか

問 過疎対策の大展開という集落支援員制度、町の取り組みはどうなっていますか。

答 企画情報課長
町の取り組みとして、地域づくり推進事業の拡大と、定住人口増加に向けた調査結果を踏まえた事業の掘り起しを行っています。内容として、現在空き家を使った定住、または交流人口増加の施策を検討しています。集落のことは、地域の内情に一番精通している自治会長にお願いしています。集落支援員制度は自治会長の要請・要望などがあれば、導入を検討していきます。

問 景観条例を町が指定した地域と過疎法による事業計画は。

答 企画情報課長
景観条例は、京築連携アメニティ都市圏推進会議の中で京築広域圏景観計画を平成23年度に策定する予定です。計画を受けて、福岡県美しい町づくり条例施行規則の一部改正により、県が平成24年4月1日より施行します。この計画では上毛町全体が対象地域となります。上毛町過疎自立推進計画書の中で景観が良い地域に対する事業などは含まれません。地域づくりの拠点施設は地域づくり推進事業の一つと考えて頂いて結構です。

東上